

早稲田大学スチューデントダイバーシティセンター
ジェンダー・セクシュアリティセンター
2023年度活動報告書
第7号

2024年4月発行



WASEDA University
早稲田大学

目次

- 00. はじめに
- 01. ジェンダー・セクシュアリティセンター（GSセンター）概要
- 02. 活動：うけとめる・つなげる・つたえる・ひろげる
- 03. 次年度に向けて
- 04. ソーシャルメディアと連絡先

00. はじめに

本活動報告書はジェンダー・セクシュアリティの多様性に関する、およびLGBTQ+の方々へのサポートを行う、そして始めようとしている多くの教育機関、企業、公共団体等の皆様方の目に止まり、それぞれの活動において、多様性を支援するための一助となるよう、そして何よりもLGBTQ+学生や、ジェンダー・セクシュアリティに関心のある全ての人々（アライ含む）に対して、本センターがセーフスペース／リソースセンターとして継続した活動ができる報告となるよう、公開するものです。

早稲田大学スチューデントダイバーシティセンター
ジェンダー・セクシュアリティセンター活動報告書 第7号

2024年4月 発行

編集・発行者 早稲田大学スチューデントダイバーシティセンター
ジェンダー・セクシュアリティセンター

問い合わせ先 gscenter@list.waseda.jp
ウェブサイト <https://www.waseda.jp/inst/gscenter/>

無断コピーおよび無断転載を禁じます。コピー・転載・引用等される際には、必ずメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。



Tokyo Rainbow Pride 2023ブース出展に合わせて学生スタッフが作成したGSセンターのロゴ

01. GSセンター概要

- ◆ 役割
- ◆ サービス・サポート
- ◆ 開設までの歩み
- ◆ 組織体制
- ◆ 勤務体制



「WASEDA PRIDE PARADES～ありのままでしあワセダ～」で西早稲田キャンパスを行進する様子

役割

▼ジェンダー・セクシュアリティセンター（GSセンター）は、早稲田大学のLGBTQ+（性的マイノリティなど）学生や、ジェンダー・セクシュアリティに関心のある全ての人々（アライ含む）の居場所であり、誰もが自由に利用できるセーフスペース／リソースセンターです。

▼The Gender and Sexuality Center (GS Center) is a safer space and resource center for LGBTQ+ and allied students, as well as all students who are interested in issues related to gender and sexuality.



「WASEDA PRIDE PARADES～ありのままでしあワセダ～」で早稲田キャンパスを行進後、GSセンターのTシャツを着たわせペアと

サービス・サポート



個別相談

ジェンダー・セクシュアリティに関する疑問や違和感、心配事、現在や将来的なウェルネスなどの相談に、守秘義務を厳守し、プライバシーを守って専門の職員が対応します。相談者のニーズに応じて学内外の適切な機関をご紹介します、可能な範囲で連携します。



コミュニティ スペース

利用者同士や学生スタッフ/職員とのジェンダー・セクシュアリティに関する話や情報交換を行える場所や、セーファークチで食事や授業の課題など、思い思いに過ごすことができる場所としてのコミュニティスペースを運営しています。



図書スペース

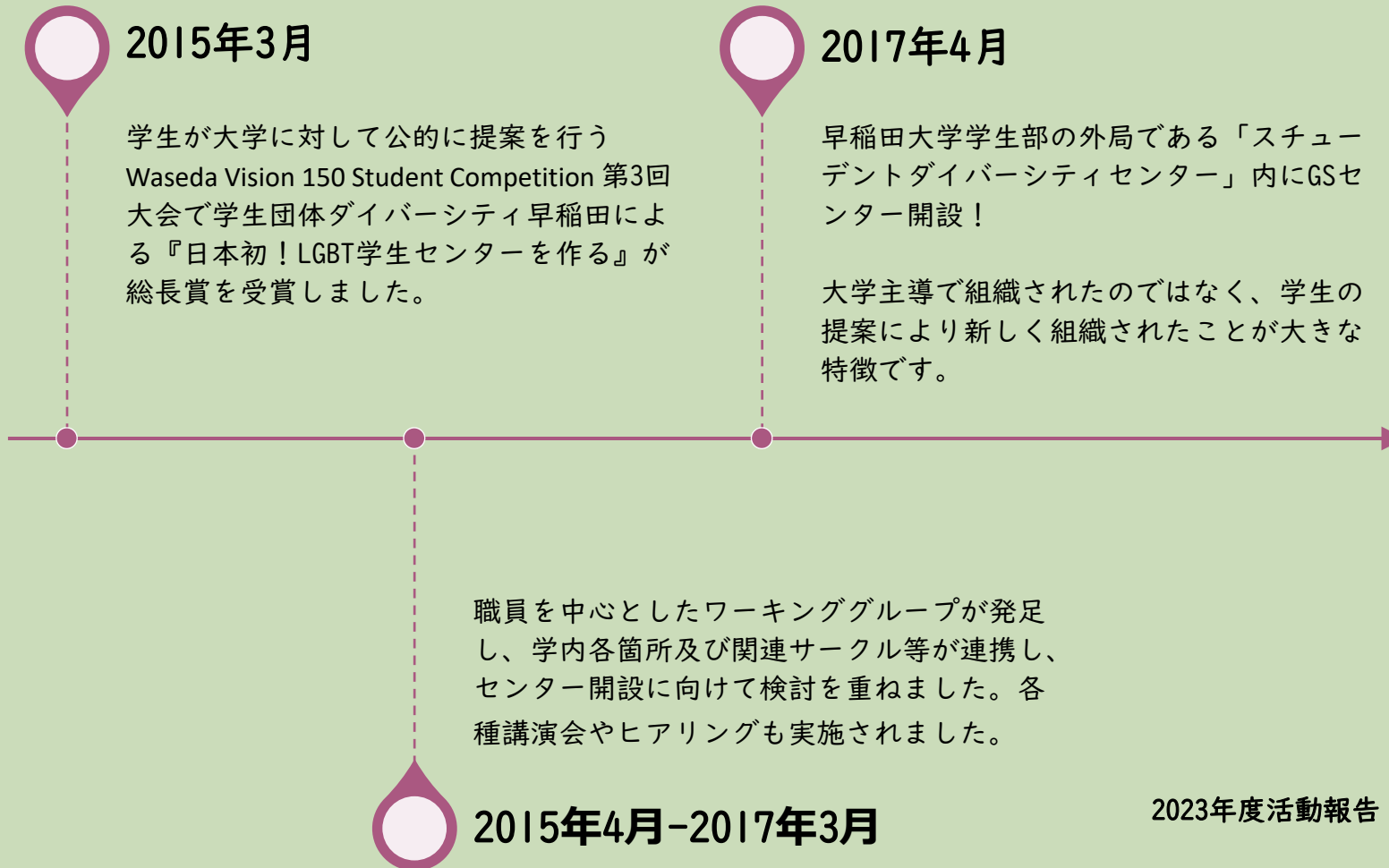
比較的最近出版されたジェンダーやセクシュアリティに関する書籍や映像作品などを豊富に取り揃えています。また、学内外の関連団体のリーフレットやイベントフライヤーなども設置しています。閲覧の他、書籍は貸し出しも行っています。



イベント

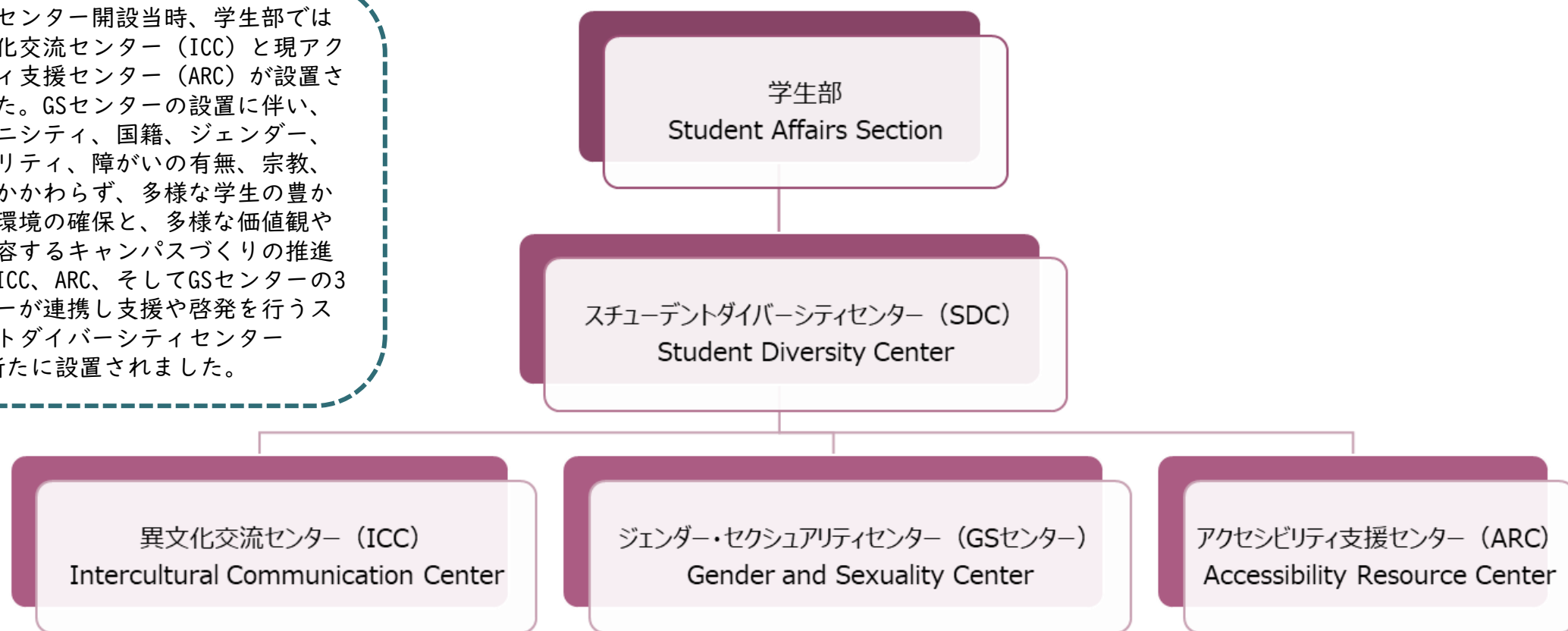
ジェンダー・セクシュアリティに関するトピックスについての学び、啓発、意見交換、参加者同士のつながり作りやゲストとの交流の機会として、学生を対象とした小中規模や、一般に開かれた大規模イベントを企画・開催しています。

GSセンター開設までの歩み



組織体制

2017年のGSセンター開設当時、学生部ではすでに異文化交流センター（ICC）と現アクセシビリティ支援センター（ARC）が設置されていました。GSセンターの設置に伴い、人種、エスニシティ、国籍、ジェンダー、セクシュアリティ、障がいの有無、宗教、年齢などにかかわらず、多様な学生の豊かな学生生活環境の確保と、多様な価値観や生き方を受容するキャンパスづくりの推進を目的に、ICC、ARC、そしてGSセンターの3つのセンターが連携し支援や啓発を行うスチューデントダイバーシティセンター（SDC）が新たに設置されました。



勤務体制

専門職員

ジェンダー・セクシュアリティに関する専門知識と経験を有する嘱託職員

- ・ 常勤1名
- ・ 非常勤1名
- ・ 対応言語：日本語・英語

専任職員

- ・ SDC課長（学生生活課課長兼務）1名
- ・ SDCジェンダー・セクシュアリティ担当課長（レジデンスセンター課長兼務）（※）1名
- ・ SDC所属特任職1名
- ・ 学生生活課兼務2名
- ・ 保健センター兼務1名
- ・ 対応言語：日本語・英語

学生スタッフ

- ・ 8名（学部生、院生）
- ・ 対応言語：日本語・英語・中国語（漢語・中文）

専門職員業務内容

- ・ 個別相談対応
- ・ 学生スタッフサポート
- ・ イベント企画運営
- ・ 教職員への啓発活動・コンサルテーション
- ・ 他箇所との連携
- ・ センター内リソースの管理拡充
- ・ その他GSセンター運営に関する業務

専任職員業務内容

- ・ 他箇所との連携
- ・ 学内外への活動紹介
- ・ 職員勉強会の運営
- ・ イベント運営
- ・ その他GSセンター運営に関する業務

学生スタッフ

- ・ コミュニティスペース運営（利用者対応含む）
- ・ イベント企画運営
- ・ ニュースレター「GSメンバーシップ」執筆・配信
- ・ 広報活動
- ・ その他GSセンター運営に関連する業務

※ 2024年1月より配置

02. 活動

◆ うけとめる

- GSセンター「利用者受付票」からのデータ
- 個別相談利用者データ
- 個別相談に関連する運用アップデート

◆ つなげる

- 学内制度・運用の改善と働きかけ

◆ つたえる

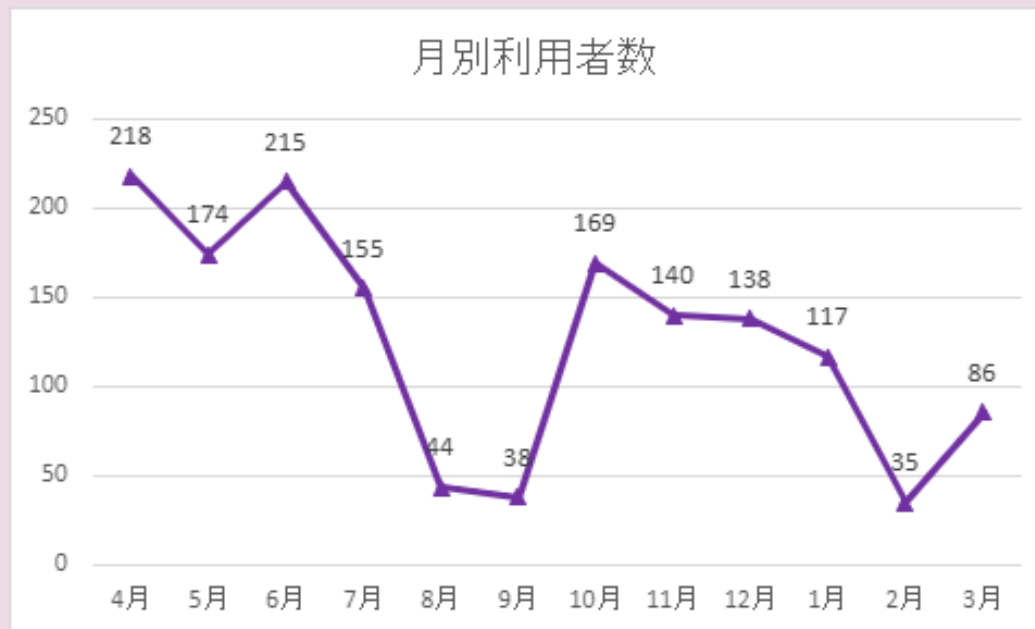
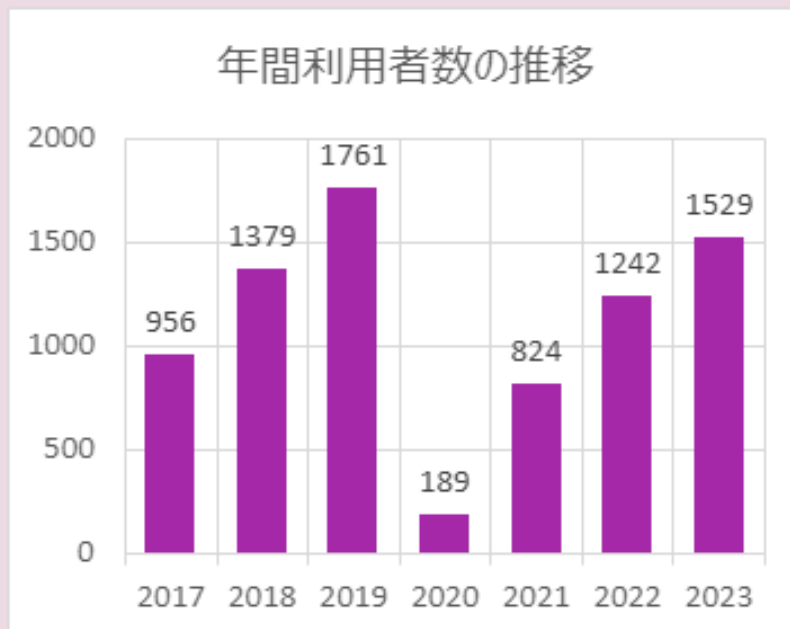
- 学生・学内教職員向けGSセンター紹介
- 学内研修・啓発

◆ ひろげる

- イベント
- 学外活動
- メディア掲載



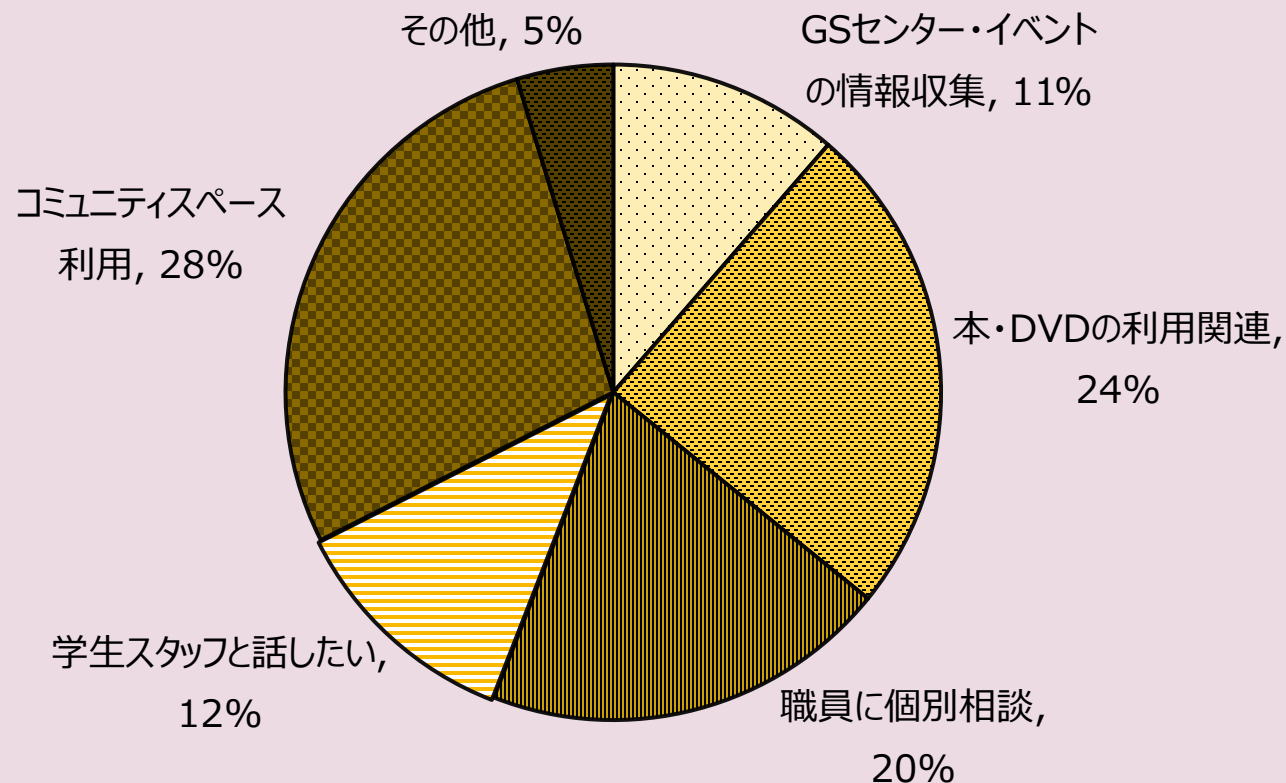
年間利用者数（延べ人数） <うけとめる>



GSセンター来室時に記入いただく「利用者受付票」から集計したデータによると、2023年度の延べ利用者数は1529名でした。2020年のコロナ禍で利用者が減少して以来、最多であり、GSセンター開室以降2番目に多い利用者数となりました。月別で見ると、新年度はじめの4～6月と夏季休業明けの10月にとくに利用者数が多くなっています。これは、毎年同様の傾向がみられます。

利用目的

<うけとめる>



利用目的別で見ると、もっとも多いのが「コミュニティスペース利用」(28%)でした。次いで、「図書利用」(24%)「個別相談」(20%)と続きます。この結果から、ジェンダー・セクシュアリティに関するセーフスペースとして、安心して集まれる場所のニーズの高さがうかがえます。また、昨年に引き続き「図書利用」も多く、リソースセンターとして関連書籍を充実していく必要性を再認識する結果となりました。

※複数回答あり

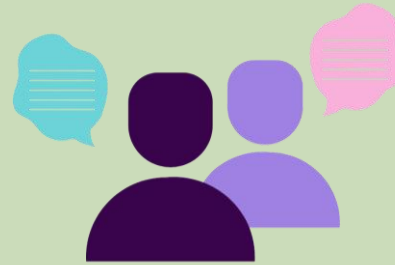
※「利用者受付票」の記入は対面での来室時のみお願いしたため、オンラインでの「個別相談」利用者や「学生スタッフと話す」ためのオンラインでのおしゃべりラウンジ参加者の回答は含まれません

個別相談実施回数

<うけとめる>



428回



利用者の希望に基づきキャンパスでの対面
とオンラインでのリモートで、日本語と英
語で受け付けました。

個別相談に関するアップデート<うけとめる>

これまでに引き続きユーザーフレンドリーかつユーザーセンタードであることを中心に添え、特に利用者の安全に関する箇所について「[GSセンター個別相談のお約束](#)」をアップデートしました。

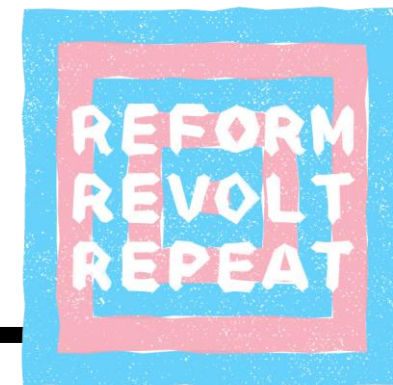


1. 利用者の心理・身体的安全を守るための危機介入のプロセスの明文化



2. 特に教職員による不適切・不十分な対応についての相談等、相談者の安全を脅かす事象については学内の会議等で報告することがあることを明文化

学内制度・運用等の改善と働きかけ<つなげる>



警備員の方々へのお願いと情報共有

- 日ごろからキャンパスの安全を保つために勤務されている警備員の方々に、よりインクルーシブで安全性の高いキャンパスの醸成のため、ミスジェンダリング、ジェンダーステレオタイピング、ジェンダーバイアスと、それらが及ぼす影響について知っていただくよう担当箇所の総務課と連携し、資料をお渡しし理解を得ました。

飲酒に関する啓発リーフレットへのフィードバック

- 学生生活課と連携し、早稲田大学学生健康増進互助会（学生早健会）発行のリーフレット「みんなで防ぐ飲酒事故：命を守る「飲酒のルールを知っておこう」について、ジェンダーや人種的多様性の観点からよりインクルーシブになるよう文言のアップデートを依頼し、反映いただきました。次回以降のアップデートでは、文言に加えてイラストもよりインクルーシブなものにしていだけるようお願いしていきます。

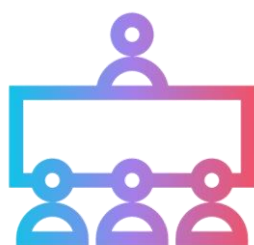
早稲田祭の安全性とインクルージョンの向上を願っての意見交換

- 学生生活課と連携し、「日本最大級の学園祭」とも言われる早稲田祭の運営スタッフチームに、ステージ発表者の更衣室と控室が二元論に基づいてジェンダー分けされた二種類しかなかったこと、更衣室への案内の際に担当者の独自の判断で「女性はこちら」と誰が女性で誰が男性かを決めるような声かけがあったこと、誰でもトイレの案内表記の中に「誰でも使える」ことが伝わるづらい表現があったこと等について改善を求める意見をお伝えしました。今後、2024年度早稲田祭運営スタッフの皆様と直接話す機会をいただく予定です。

学生早健会契約医療機関へのお願い

- 学生生活課と連携し、学生早健会の契約医療機関の皆さまに、問診票等の設問がジェンダーに関連させない問い方であると安心して受診できる（妊娠に関する質問に「女性の方にお尋ねします」などの枕詞を付けず、単に「現在妊娠中ですか」とする等）との意見をお伝えし、ご協力をお願いしました。

学生・学内教職員向けGSセンター紹介<つたえる>



実施数
19回

学生スタッフによる「新入生がジェンダーやセクシュアリティの講義を初めて受けているその時に、はじめての大学生活でモヤモヤしたり傷ついたことがあれば、その気持ちを安心して話す場所があること、またその気持ちを共有することができる人がいることを知ってもらうため」そして「他学年のGSセンターの利用者を増やす」ことを目的とした『GSセンターを紹介しまくろう☆☆☆』企画を中心に、多くの教員との連携の上、学生と新入職員を対象に訳20名～600名までのさまざまな規模の会場でGSセンターの存在と活動を紹介しました。

また、学生スタッフがGSセンター紹介動画をリニューアルしました。



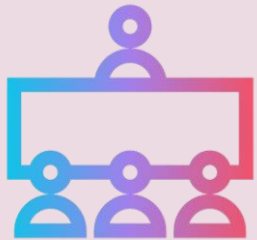
<https://youtu.be/2-NwbDITJc?si=02o21qCCtiQdTCNV>

GSセンター紹介動画URLとQR

紹介日	授業・イベント名	担当者
2023/4/12	社会科学部新入生向けオリエンテーション	専門職員
2023/4/12	新入職員研修	専任職員
2023/4/14	こころとからだの健康101 (藤野京子教授)	専門職員
2023/4/20	ジェンダー・スタディーズ I 身近なことを視座にして (金井景子教授)	学生スタッフ
2023/4/21	ジェンダー論 (豊田真穂教授)	学生スタッフ
2023/4/25	現代の社会構造 I (石崎裕子非常勤教員)	学生スタッフ
2023/4/25	セクシュアリティの社会学 (森山至貴教授)	学生スタッフ
2023/4/25	Minorities and the Law in the United States 01 (秋葉丈志教授、SDCセンター長)	学生スタッフ
2023/4/26	ジェンダー論 (熱田敬子非常勤教員)	学生スタッフ
2023/4/26	グローバリゼーションと性 (福永玄弥非常勤教員)	学生スタッフ
2023/4/27	必修基礎演習 24 (豊田真穂教授)	学生スタッフ
2023/4/27	ジェンダーと法 I (石田京子教授)	学生スタッフ
2023/5/11	教育学演習 3 (村田晶子教授)	学生スタッフ
2023/5/12	必修基礎演習72 (村田晶子教授)	学生スタッフ
2023/10/27	新入職員研修	専任職員
2023/11/29	Introduction to Psychology (東玲奈准教授)	専任職員
オンデマンド	障害学 (岡部耕典教授)	学生スタッフ
オンデマンド	教育とジェンダー (近藤牧子非常勤教員)	学生スタッフ
オンデマンド	Biological Psychology (東玲奈准教授)	専任職員
2024/3/28-3/29	政治学科/経済学科/国際政治経済学科新入生オリエンテーション	学生スタッフ 専門職員
2024/3/29	法学研究科英語学位新入生オリエンテーション	専門職員
2024/3/29	アジア太平洋研究科新入生オリエンテーション	専門職員

学内研修・啓発

<つたえる>



学内研修実施数

18回

+

『LGBTQ+学生と
アライのためのサポートガイド
Ver.7』発行

<学内研修>

- ◆ Ailly養成研修（新入職の専任職員・学生支援に関わる箇所の専任職員を優先に継続実施中）全3回
- ◆ ジェンダー・セクシュアリティに関する職員勉強会（学内様々な箇所から職員が参加）全11回
- ◆ GSセンター学生スタッフ研修 全2回
- ◆ GSセンター新管理職研修 1回
- ◆ 早稲田小劇場どらま館主催「演劇におけるジェンダー・セクシュアリティ研修会～安全な稽古場のために～」 1回

<啓発>

- ◆ 『LGBTQ+学生とアライのためのサポートガイド Ver.7』発行

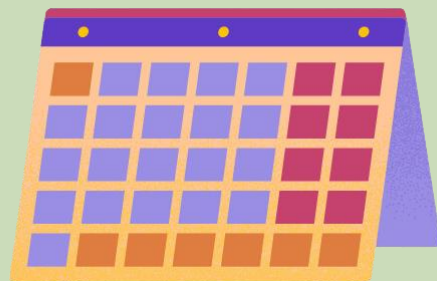


イベント

<ひろげる>

就活の抑圧を共有することができて良かったです。ひとりひとり違う困りごとがあるなかで、モデルや同じような仲間がいることがとても心強いものになると感じられました。

テーマありおしゃべりラウンジ
「就活セクシズム」参加者感想より



イベント実施数

39回



イベント参加者数

約2,426人以上

It was really fun and it was nice to see Waseda hold events for the LGBT.

「WASEDA PRIDE PARADES～ありのままでしあワセダ」参加者感想より

とても面白かったです。興味はありましたがなかなか自分で調べてみようと思うまではいけなかったのですが、お話を伺ってとてもよく構造が分かりました。2年後に是非解説のイベントやってください！

「秋葉センター長、婚姻の平等について教えてください！」参加者感想より

小・中規模イベント内訳と開催報告記事

<ひろげる>



開催期間	イベントタイトル	参加者人数
2023/4-2024/3	おしゃべりラウンジ/Conversation Lounge (全16回) - 内テーマあり8回 (就活のあれこれ、カミングアウト、coming out, フェミニズム、カミングアウト&ノンバイナリー、クワロマンティック、セクシュアル・ウェルネス [18歳以上限定]、就活セクシズム [協力:#就活セクシズム by SSS (Smash Shukatsu Sexism)さん]) - 内西早稲田キャンパス開催1回、戸山キャンパス開催1回	107
2023/6/28	テーマトーク: お笑い	9
2023/7/6	秋葉センター長、婚姻の平等についてゼロから教えてください! (講師:SDCセンター長秋葉丈志)	46
2023/10/16	あなたは どうする? 友達がハラスメントにあいました (講師:北仲千里さん)	55
2023/10/30	～Aロマンティック (and/or) Aセクシュアル & かもしれない人へ～ 「あたりまえ」の恋愛が分からない私たちのしゃべり場 (ゲスト:神林麻衣さん)	20
2023/12/28	Podcast番組 早稲田大学GSセンター presents Queering Waseda エピソード7「今年のことは今年のうちに振り返ろう! WASEDA LGBTQ+ ALLY WEEKS 2023 どうだった〜?」 公開	—
2024/1/31	文字起こし記事 ジェンダーとセクシュアリティのこと、どこで話せる? 早稲田大学の相談できるところを知ろう! (パネリスト: GSセンター専門職員2名、GSセンター・保健センター兼任専門職員1名)	15



「WASEDA PRIDE PARADES 〜ありのままでしあワセダ〜」の早稲田キャンパスパレードでの一幕

※各イベントタイトルをクリックすると開催報告記事等にアクセスいただけます

※各イベントタイトルをクリックすると開催報告記事等にアクセスいただけます

大規模・コラボレーションイベント 内訳と開催報告記事<ひろげる>



開催期間	イベントタイトル	参加者人数
2023/7/24	DO YOU SEE ME NOW-FEMINIST VOICES IN JAPAN (共催: SCHNUDIGADIFILMS、GSセンター)	33
2023/8/5-8/6	オープンキャンパス (全4イベント) ・GSセンター見学『おいでよ!GSセンター』2日間 (236人参加) ・ SPEC企画 Wトーク 2回 (GSセンター学生スタッフ出演回のみ、414人参加)	650
2023/8/27	LGBTQ+インクルーシブキャンパスネットワーク (8大学から代表者が参加)	19
2023/10/25	権利と健康を守る性的同意 “被害者にも加害者にもならない” (主催:早稲田大学学生部学生生活課、協力:GSセンター、ゲスト:藤井ひろみさん)	170
2022/11/30-12/9	WASEDA LGBTQ+ ALLY WEEKS 2023 (全7イベント)	355
2023/12/21	LGBTQ+&かもしれない人のための就活・就労 (協力:日産自動車株式会社、早稲田大学キャリアセンター ゲスト:キャリアコンサルタントの方、米田さん、STさん、日産自動車株式会社シニアマネージャー福田りささん)	23
2023/12/6	男女共同参画・ダイバーシティの推進プロジェクト講演会 (主催:早稲田大学ダイバーシティ推進室、共催:SDC)	200
2024/1/13	話して発見、広げて価値観 早稲田SDCヒューマンライブラリー (主催:ICC、協力:GSセンター、他)	30



「WASEDA PRIDE PARADES ～ありのままのワセダ～」の
戸山キャンパスパレード終了直後の様子

※各イベントタイトルをクリックすると開催報告記事等にアクセスいただけます

WASEDA ALLY WEEKS

内訳と開催報告記事<ひろげる>



開催期間	WASEDA ALLY WEEKS内イベント	参加者人数
2023/11/29	「ジェンダー平等」とバックラッシュ：東アジアのクィア運動からの考察 （ゲスト：福永玄弥さん）	58
2023/12/1	教えてぱて先生！ボカロから考えるジェンダー・セクシュアリティ （ゲスト：鮎川ぱてさん）	85
2023/12/8	最強★ALLY道場 日常にゴロゴロ転がる差別を倒せるようになろう！	25
2023/11/27, 11/29, 12/4 & 12/6	WASEDA PRIDE PARADES ～ありのままでしあワセダ～ （全4回） ・ 英語版開催報告記事	187



「WASEDA PRIDE PARADES ～ありのままでしあワセダ～」の戸山キャンパスパレードで的一幕

※各イベントタイトルをクリックすると開催報告記事等にアクセスいただけます

学外活動

<ひろげる>

開催期間	イベントタイトル	担当者
2023/4/22 -4/23	NP0法人東京レインボープライド主催「 Tokyo Rainbow Pride 2023 」 ・ ブース出展（LGBTQ+稲門会との共同出展）	学生スタッフ・ 職員一同
2023/12/7	独立行政法人日本学生支援機構主催セミナー「 性的指向・ジェンダーアイデンティティの多様性－大学等における理解増進と支援の充実に向けて 二 」 ・ 早稲田大学の関連取組を報告	SDCセンター長
2024/2/5	株式会社 JobRainbow主催「 D&Iアワード2023カンファレンス 」 ・ パネルディスカッションのパネリストとして登壇	SDCセンター長



※各イベントタイトルをクリックすると開催報告記事等にアクセスいただけます

メディア掲載

<ひろげる>



東京レインボープライド2023で
実感した「人とのつながり」

早稲田ウィークリー

2023/5/24

学生スタッフともひろによる
『東京レインボープライド
2023で実感した「人とのつな
がり」』が配信されました。

<https://www.waseda.jp/inst/weekly/news/2023/05/24/108470/>



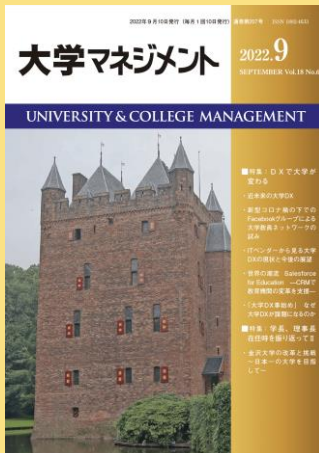
ジェンダーについて丸分かり！
今こそ知りたい基礎知識、教えま
す

早稲田ウィークリー

2023/11/27

専門職員向坂あかねと古堂達
也へのインタビュー記事「ジ
ェンダーについて丸分かり！
今こそ知りたい基礎知識、教
えます」が配信されました。

<https://www.waseda.jp/inst/weekly/feature/2023/11/27/114360/>



大学マネジメント 2023.9月号

2023/9/10

特集「大学時におけるLGBTQの
理解増進に向けて」に学生部
事務副部長兼SDC課長（当時）
三木基司による「早稲田大学
GSセンターLGBTQ+学生への支
援取組みについて」が掲載さ
れました。

<https://media.toridaz.jp/s0510/488.pdf>



身近にジェンダーを感じる配信で
社会を変える第一歩に

早稲田ウィークリー

2023/11/28

早稲田生へのインタビュー
記事「身近にジェンダーを
感じる配信で社会を変える
一歩に」の中で、GSセンタ
ーの活動が紹介されました。

<https://www.waseda.jp/inst/weekly/news/2023/11/28/114227/>

03. 次年度に向けて

- ◆ 課題
- ◆ 抱負・目標
- ◆ 活動支援のお願い



「WASEDA PRIDE PARADES ～ありのままであワセダ～」で所沢キャンパスで声をあげるわせべアとパレード参加者

課題

大学制度上・大学構成員のマインドセットと体制

- ・ジェンダー二元論的な土台や、シスジェンダー・ヘテロセクシュアル・性愛者主義的な制度、メッセージ、取り組みが根付いている
- ・LGBTQ+学生をデフィシット・ベーストでしか認識しない人が少なくない（例：「悩みを持っている」「助けを必要としている」等の存在としか認識していない）
- ・箇所間、教職員個人、学生活動団体間や学生個人のLGBTQ+コミュニティやジェンダー・セクシュアリティに関連するDE&Iへの取り組みに温度差がある（例：誰でもトイレのサインが全学的に統一されておらず本当に誰でも使用していいことが分からない表示も残っている、ダイバーシティ推進室発行の『LGBTQ+学生への配慮・対応ガイド（教職員向け）』掲載事項に沿わないネガティブな対応をする人もいる）
- ・委託業務を担う職員との密な連携やLGBTQ+コミュニティやジェンダー・セクシュアリティに関する研修の提供が難しい

GSセンター環境と体制

- ・建物が古く空調が効きづらいので夏は暑く冬は寒い
- ・センターのスペースが狭く、すぐに満員になってしまう／おしゃべり自由なコミュニティスペースと、静かに過ごす図書スペースの担保が難しい
- ・人件費、運営費ともに少なくゲストへの謝礼も薄謝になってしまう他、学生スタッフも稼働時間に制限があるためやりたいイベントとそのクオリティを稼働時間内で可能な範囲で担保することに難しさを感じる場合がある
- ・管理職の非常駐、専任職員が全員兼任、専門職員が有期など、人員の・時間的余裕が限られすぎている

GSセンター周知

- ・学生の所属学部・研究科やキャンパスによってGSセンターの認知度やアクセスのしやすさが違う
- ・他キャンパスまで出向いて活動するにはGSセンターとしてのキャパシティが不足している
- ・GSセンターのことを認知できていない教職員がいる・GSセンター側の広報活動にさらなる工夫が必要
- ・「GSセンターはLGBTQ+学生のみを対象とした場所」などの間違った認知をされていることがある

抱負・目標

大学制度上・大学構成員のマインドセットと体制

- 学生担当教務主任会でのGSセンターの活動や課題の共有と、学内研修・学内連携の機会を通して、
 - 学内でのDE&Iの優先度を上げ、ジェンダー二元論的な土台や、シスジェンダー・ヘテロセクシュアル・性愛者主義的な制度、メッセージ、取り組みを改善し、あらゆるジェンダー・セクシュアリティのあり方の学生に対して過ごしやすい大学であるためアップデートし続けたい
 - 多機能な誰でもトイレを、西早稲田キャンパスやI7号館を含む大学全体で充実させたい
 - 「悩みや問題」が明らかになるときだけではなく、恒常的にジェンダー・セクシュアリティに関するテーマに興味・関心がある学生、LGBTQ+学生やアライ学生の強みやポジティブな活動にもスポットがあたる環境にしたい
 - GSセンターのミッションや活動のアライを増やしたい
 - 業務委託を担う、業務上学生との関わりが深い職員と管理職への研修やサポート体制を整えたい
 - 学生主体の活動への、ジェンダー・セクシュアリティに関するDE&Iにまつわるサポート体制を整えたい
 - 「SOGIハラスメント」とその防止・介入についての知識を有する大学構成員を増やしたい
 - ジェンダー・セクシュアリティに関する学びを深める有志によって実施されている職員勉強会を業務時間内で開催できるよう人事課等関係箇所と協働したい

GSセンター環境・体制

- 利用者にとっても運営者にとっても快適な環境を整えたい
- 助成金や寄付金などの外部資金を増やしたい
- マルチリンガルの学生スタッフや職員の増員など、言語キャパシティを上げたい
- 人事課等関係箇所との連携を通して人員的・時間的余裕を最大化したい

GSセンター周知

- 西早稲田キャンパスや所沢キャンパスなど、GSセンターから離れたキャンパスでのGSセンターの認知度や、ジェンダー・セクシュアリティに関する話をすることができる機会を増やしたい
- 学生スタッフと職員の協働でGSセンター紹介の機会を増やし続けたい
- 他箇所との連携によって、GSセンターの学内の周知のチャンネルを増やしたい
- 可視化されづらいテーマでのイベント開催を増やしたい

活動支援のお願い



「WASEDA PRIDE PARADES ～ありのままでしあワセダ～」所沢キャンパスパレードでの一幕

2023年度より、GSセンターのジェンダー・セクシャリティの啓発を目的とする運営経費のご寄付を行っていただける仕組みができました。

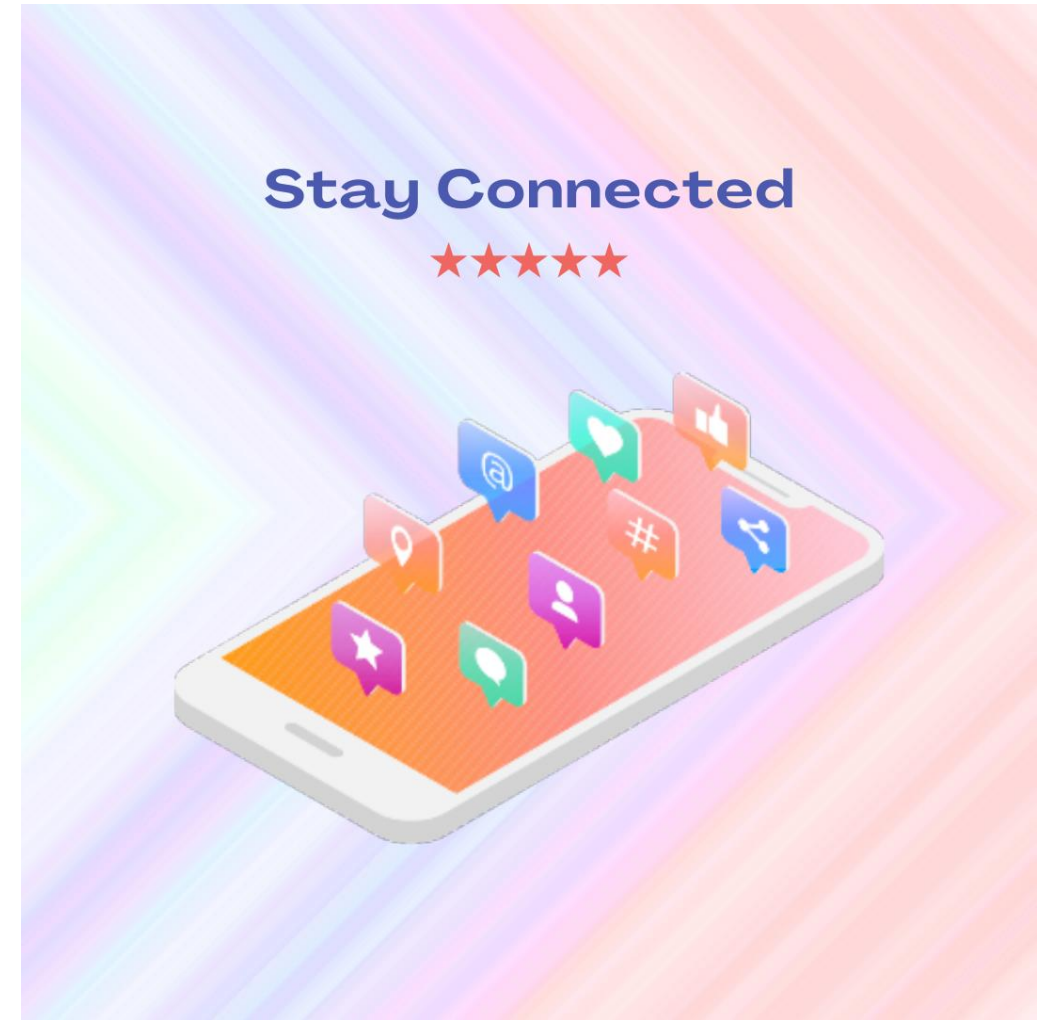
開設5年の節目を迎え、この先も「セーフスペース／リソースセンター」であり続けるべく、GSセンターは学生のニーズに沿って常に進化し続けていくべく活動しています。

GSセンターの設立趣旨や活動にご賛同いただける場合は、[こちらのウェブページ](#)から指定寄付金を受け付けておりますので、ご支援のほどよろしくお願いいたします。



04. ソーシャルメディアと 問い合わせ先

- ◆ ウェブサイト
- ◆ 各種ソーシャルメディア
- ◆ ニュースレター（GSメンバーシップ）
- ◆ お問い合わせ



04. ソーシャルメディアと問い合わせ先



Website

<https://www.waseda.jp/inst/gscenter/>



X (旧Twitter)

https://twitter.com/gs_waseda



Instagram

<https://www.instagram.com/gscenter.waseda/>



Facebook

<https://www.facebook.com/wasedags/>



note

<https://note.com/gscenter>



Newsletter

(GSメンバーシップ)

<https://www.waseda.jp/inst/gscenter/more/sns/>

問い合わせ先: gscenter@list.waseda.jp

編集・発行者 早稲田大学スチューデントダイバーシティセンター・GSセンター

無断コピーおよび無断転載を禁じます。コピー・転載・引用等される際には、必ずメールにてご連絡いただきますようお願いいたします。